

第 6 章 高圧ホースの Q & A

<現象 1：カニ泡の発生>

Q1：高圧ホースの継手金具及びホース本体に検知液を塗布し、漏れを確認したところ、ホースと金具のカシメ部からカニ泡状の気泡がわずかに発生しましたが、これはガス漏れでしょうか？

A1：ホースは、外層、補強層及び内層の 3 層構造となっています。図 16 のように外層には補強層まで貫通した小穴（プリッキング加工）があげられています。ホースには、内層ゴムと外層ゴムとの間の補強層にわずかな空気が存在しています。ホースに内圧が加わりますと、補強層に溜まっていた空気が外層の小穴（プリッキング加工）及びホースカシメ部より押しだされ、漏れ検知液を塗布した時、カニ泡状になって一見ガス漏れのような現象が発生しますが、これは一時的な現象でガス漏れではありません。

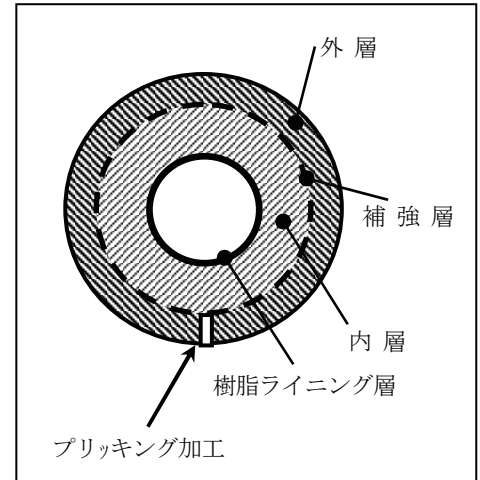


図 16

<現象 2：接続部からの漏れ>

Q1：高圧ホースと容器バルブとの接続部からガスが漏れることがありますが、どうしてでしょうか？

A1：接続部への砂等のかみ込み、O リングや角リングに傷または変形が発生した場合が考えられます。砂等のかみ込みの場合はねじ部が破損されていることがありますので、新品と交換してください。

(POL の角リング変形の例)



図 17

Q2：片側連結用高圧ホースの圧力調整器接続部からガスが漏れるのですが...

A2：圧力調整器取付け後、取付け姿勢を直すために圧力調整器をねじったことにより、POL ねじが緩んだためです。O リング・角リングにゴミ等が付着していないことを確認して、圧力調整器を保持して締め直して下さい。